
ポーカロイドの日常

ぶらむ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボーカロイドの日常

【Zマーク】

N7271Y

【作者名】

ぱらむ

【あらすじ】

皆大好き、歌って踊るボーカロイド。

でも、彼女たちは、どんな生活をしているのかな?

これは、その謎を面白おかしく解き明かす小説です。

作者が好きな曲の歌詞とともに紹介していくから...

初音ミク「よろじくね!」

自己紹介（前書き）

ちょっとKAITOが
残念なことになつてます。

血口紹介

「いつも初めまして！初音ミクです。よろしくねー！」

リ「鏡音リンとー！」

レ「鏡音レンー！」

ル「巡音ルカ……です」

M「MEIKOです。よろしく」

K「KAHTOです！好きな物は安东尼ガローネです」

「この小説はミクたちの日常をササッと書いたようなノリで進みます！」

レ「ナレーターも入るからね。今回は入らないけど」

G「作者は結構、命削ってるみたい」

リ「これからキャラも増えると思つから、皆、どうか見て行ってねー！」

「いやあ、今日は血口紹介だけだけど、みんな…」

全員「よろしくねー！」

鳥居、素晴らしきわいわい人生（前編）

初めての歌詞付き小説です！
楽しんでくれたら幸いです。
あと、長いです。

鳥呼、素晴らしいヤン生

リ「かわいいいい？」
？「こやあーん」

リンの声と、何かの鳴き声がある部屋で、響きます。

レ「リン～ミク姉がおつかい行つてきたりましたんだね～…
何それ…？」
リ「レン～酷いな、何それなんて。見ればわかるでしょ？猫だよ」
レ「いや…それは分かるんだけど…」

お決まりの会話が繰り広げられます。レンくん、お疲れ様。
そこに、我らがGIGIMEが現れました。

G「レンくん。ミクちゃんがおつかい行つてきただって…」
レ「ほりあー僕に白羽の矢が立つかけたじやないか！」

まあ、どうせネギなんだろ？ナビーと叫び声でレンくん。

G「…猫？」
猫「にゃーん」
リ「うん。猫だよ（キツツ）」
レ「開き直らないで！」
ミ「リン、レン～ちょっと加賀ネギと曲がりネギと「田ネギ」と九条ネギとやつこネギとチャイブとアサツキとワケネギと千住ネギとリーキと九条細ネギと谷田部ネギと観音ネギ買つてきてくれない？」
レ&リ「ミク姉やめて…！」

お決まりのパターン²來ました。そして、レンくんの予想大当たり。

G「なんで猫がいるの？」

一人冷静なGUMI。流石です。

リ「あ…可愛いでしょ」「

レ「誤魔化さないで！」

レンくんはこのあと、布団にこもって熟睡したそつな。

リ「家の前にいたの。可愛いから連れてきちゃった」

レ「連れてきちゃった つてあの…」「可愛いよねー…GUMIちゃんもそう思つでしょ？」

G「うん…可愛い」

リ「なんか癒されるよね！」

レ「はあ…まあ、確かにな」

M「かわいいー？」

ほのぼのとした空気が、広がります。
そして、ミクが言いました。

M「ねえ…『嗚呼、素晴らしきニヤン生』歌つてよー私、あの曲好きなんだ」

リ「あつー！レンもリンもー！ききたいー！」

リンも乗ります。どしどしあります。
二人は戸惑うと思われました。が…

G「久しぶりに、いいんじゃない？」

レ「え？ああ……うん。一応、僕らは歌つのが仕事だし」

M「いいじゃない！ききたいわ」

K「俺も…」

ル「私も…」

いつの間にかMEIKOとKAITOとルカがいました。
三人も、きく気満々のようです。

G「じゃあ…」

レ「いくか」

嗚呼、素晴らしいとき一ヤン生

これは可愛いお嬢さん
真っ白な毛がとても素敵ね
こんな月が綺麗な夜は
僕と一緒に遊びませんか

一ヤン生は一度きり
楽しむが勝ちなのです
あなたを縛る首輪は
噛み千切つてあげましょ

野良は最高

ニヤンニヤンニヤン

魚くすねでハト追いかけて
昼間は働く人間を

尻田に屋根の上で夢のつづり

あなたも自由に
ニヤンニヤンニヤン
素敵な仲間も紹介しましょう
さあ、その窓を開いて
飛び出すのです！

これは気ままな野良猫さん
闇の中目だけが光つてる
ずいぶん口が上手だけど
私はバカな女じゃないわ

ニヤン生は一度きり
だからこそ飼われるのよ
ブランド首輪の価値が
あなたには分かるかしら？

私は優雅よニヤンニヤンニヤン
美味しい食事にふかふかベット
水はちょっとびり苦手だけど
毎日シャワーだって浴びれるの

それに比べてニヤンニヤンニヤン
あなたは誰に守つてもいいの？
明日車に轢かれるかも
知れないじゃない！

そんな強気な
ところも素敵です

一層あなたを
好きになりました

あら正直ね

でもそんなやり方じゃ、
口口口搔らがないわ

僕の夢はニヤンニヤンニヤン
いつかはこの街を飛び出して
はるか北の国に旅して

そこにはあなたが「ヤン」「ヤン」「ヤン」
居てくれたらなんて素敵でしょう
だけどそれは叶わないらしい…

生き方はニャンニャンニャン
そう簡単には変えられないの
それに私を飼つてい
女の子を一人にできないわ

ねえ、ちよつとー

明日もここに来ていいのよ

待てなかば

まほらまほら

お疲れ様、レンくん。

お疲れ様、GUMIちゃん。
お疲れ様、私。

レ「ふう…」

G「どうだったかしら？」

リ「お疲れ一人とも！よかつたよ？」

M「ええ、よかつたわよ」

K「うんうん」

ル「良かつたですよ。お疲れ様でした」

ミ「このミクさんが太鼓判を押してあげるよー。」

あれ、みんな？

作者の努力にはノーコメントですか？

まあ、いいとしましょう。

それではみなさん、

全員「また、会えますよ！」…」

ああ！決めゼリフを奪われた！

鳥居、素晴らしいやん生（後輩や）

長くてすいませんでした！

また次回も見てくれたら幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7271y/>

ボーカロイドの日常

2011年12月1日15時47分発行